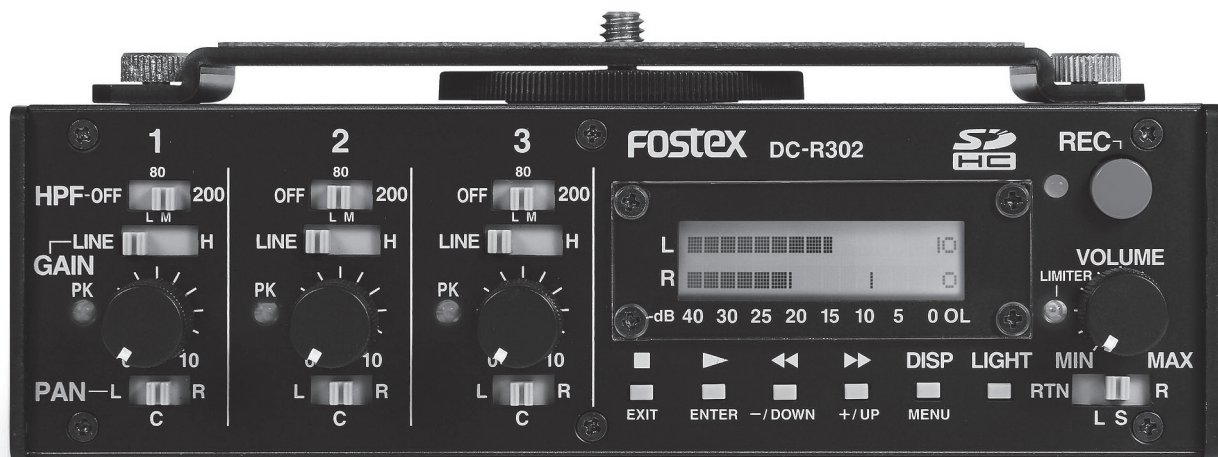


詳細マニュアル

DC-R302

ポータブル・レコーダー



目次

はじめに	3	メニューを使う	16
本機の概要	3	メニュー操作の基本	16
主な特長	3	メニュー項目一覧	16
各部の機能と名称	4	各メニュー項目の詳細	17
準備する	9	録音フォーマットを選択する [FS/BIT]	17
SDカード	9	録音開始時にトーンを発生する [ToneRec Start]	17
SDカードをセットする	9	録音終了時にトーンを発生する [ToneRec End]	18
電源	9	録音停止キーを設定する [REC STOP KEY]	18
電源の準備	9	デフォルトファイル名を設定する	
電池に関する表示	9	[DEF. FILENAME]	19
残量表示	9	USBモードを有効にする [USB]	19
アラート表示	9	電池の種類を設定する [BATTERY]	20
基本的な使い方	10	赤外線コントロール機器を設定する [IR REMOTE]	20
電源のオン / オフ	10	SDカードをフォーマットする [SD FORMAT]	21
日時の設定	10	内部時計の日時を設定する [RTC]	21
時計用のバックアップ電池について	10	メニュー項目を初期化する [RESET]	22
入力の接続と設定	11	ソフトウェアバージョンを表示する [Version x.xx]	22
モニターの準備	12	ファイルの管理	23
ミキサー部の設定	12	本機の自動ファイル管理機能	23
録音する	13	新規フォルダーを作成する	23
録音の基本操作	13	ファイルを削除する	23
録音に関する設定	13	フォルダーとファイルをすべて削除する	23
録音フォーマット	13	ディスプレイ詳細	24
録音停止キー	13	レベルメーター	24
デフォルトファイル名	13	ファイル名+経過時間	24
録音開始トーン	14	ファイル名+残量時間	24
録音終了トーン	14	録音設定情報	25
再生する	15	電源状況	25
再生可能なFS/ビットの組み合わせ	15	USB機能	25
ファイルを選択する	15	一眼レフカメラと本機を一緒に使う	26
再生の基本操作	15	本機にカメラをマウントする	26
外部に音声を出力する	15	本機に同期してカメラのスタート / ストップを行う	26
基準トーンを出力する	15	赤外線コントロール機器を設定する	26
		カメラに本機のオーディオ信号を送る	26
		カメラ機材を利用する	27
		三脚を使う	27
		シャッターリモートで本機をコントロールする	27
		アラート表示とエラー表示	28
		アラート表示	28
		エラー表示	28
		仕様	29
		アナログオーディオ入出力	29
		その他のコネクタ	29
		ピークリミッター	29
		HPF (ハイパスフィルター)	29
		性能	29
		一般	30
		外形寸法図	30
		ブロックダイアグラム	31

はじめに

本マニュアルはフォステクス DC-R302 ポータブルレコーダーの詳細について説明しています。製品に付属しているクイックスタートマニュアルと合わせてご利用ください。

本機の概要

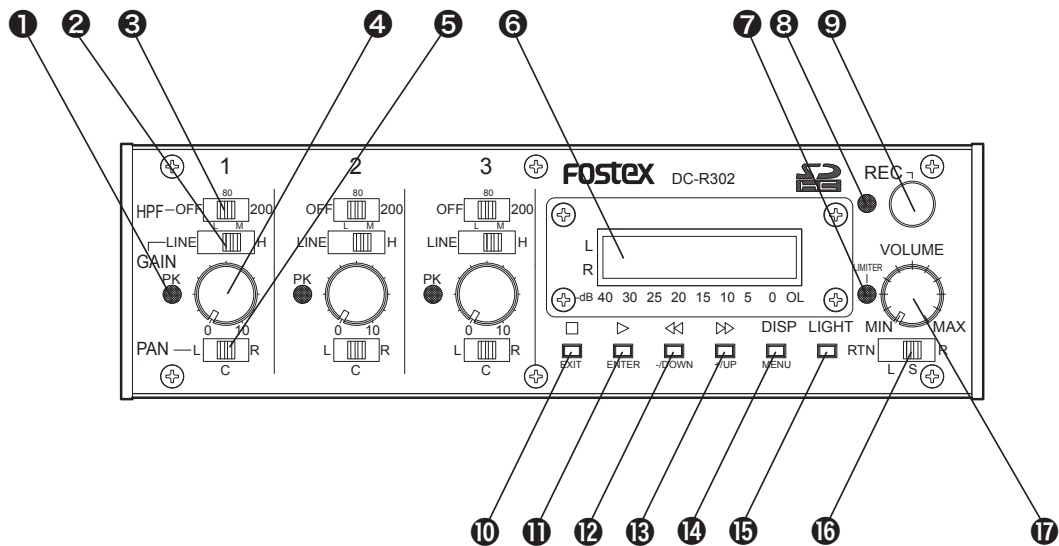
本機はデジタル一眼レフカメラ (DSLR) を使った動画撮影に最適な、3チャンネルオーディオミキサーを備えたステレオオーディオレコーダーです。ミキサーからの高音質な音声をカメラに出力すると同時にSDカードへ録音することができます。レコーダー上部には一眼レフカメラをマウントすることができます。

主な特長

- アナログ3チャンネル・オーディオミキサーを搭載したステレオSDカードレコーダー。
- カメラをマウントするためのブラケットを用意。
- 下部に三脚取付用のネジ穴を用意。
- カメラマウント用ブラケットを取り外すことにより、高音質な単体ポータブルレコーダーとして使用可能。
- 赤外線発光により、本機の録音スタート/ストップ操作で一眼レフカメラの録画をスタート/ストップすることが可能。
- 市販のシャッターリモコン (パナソニック社 DMW-RS1 互換) を使って、本機の録音のスタート/ストップが可能。
- 3チャンネルのミキサー入力部はマイク/ラインレベルに対応。各チャンネルにリミッター及びHPFを搭載し、過大入力による歪みや不要な低音成分の削減が可能。
- マイク入力部にファンタム48V電源を搭載。高性能なコンデンサーマイクロホンを使用可能。
- ライン出力及びマイクレベル出力を装備。カメラなどの外部機器への音声入力へミックス音声を送ることが可能。
- モニター用ヘッドホン出力のソース選択が可能 (左チャンネル、右チャンネル、ステレオまたはRTN IN入力)。
- 編集時の音合わせに便利な自動スレートトーン (1kHz/正弦波) 発音機能を搭載。
- 16/24bit*、Fs 44.1 ~ 96kHzのステレオWAVファイルを、SD (SDHC) カードに記録可能。 (*16bitは44.1/48kHzのみ。)
- パソコンとのUSB接続により、本機とパソコン間のファイル転送、パソコンでの音声記録やライブストリーミングが可能。
- 電源として乾電池 (単三電池 × 4本)、別売のACアダプター (AD15-3200)、または外部DC電源 (9 ~ 24V) を使用可能。
- アルミの押し出し材を使用した軽量で堅牢な筐体。カメラ、三脚、リグ等に取り付けてもたわまない強靱性を保持。

各部の名称と機能

フロントパネル



① [PK] インジケータ (1 ~ 3)

過大入力を監視するためのインジケータです。[GAIN] スイッチ、[HPF] スイッチを通った後の信号レベルが内部最大レベルから 3dB 下のレベルに達すると、赤く点灯します。[→ 「入力の接続と設定」(11 ページ)]

< Hint > : このインジケータがひんぱんに点灯する場合、音源を遠ざけるか、または [GAIN] スイッチを左寄りのポジションにしてください。

② [GAIN] スイッチ (1 ~ 3)

左サイドパネルの [INPUT] コネクター (1 ~ 3) の入力感度を切り替えます。[→ 「入力の接続と設定」(11 ページ)]

- LINE : -10dBu のライン入力レベルに対応します。
- L : -30dBu のマイク入力レベルに対応します。
- M : -45dBu のマイク入力レベルに対応します。
- H : -60dBu のマイク入力レベルに対応します。

< Hint > : 接続するマイクの感度や録音ソースの音量に応じて設定します。[PK] インジケータがひんぱんに赤く点灯する場合は、音源を遠ざけるか、スイッチを左寄りのポジションにしてください。

③ [HPF] スイッチ (1 ~ 3)

左サイドパネルの [INPUT] コネクターのマイク入力信号に対して、ハイパスフィルターのオン/オフおよびオン時のカットオフ周波数の切り替えを行います。[→ 「入力の接続と設定」(11 ページ)]

- OFF : ハイパスフィルターをオフにします。
- 80 : カットオフ周波数 80Hz (-6dB/oct) のハイパスフィルターをオンにします。
- 200 : カットオフ周波数 200Hz (-6dB/oct) のハイパスフィルターをオンにします。

< Hint > : 入力信号に風切り音や空調設備の音などの不要な低音ノイズが含まれているとき、ハイパスフィルターを使ってノイズをカットすることができます。

④ レベル調整つまみ (1 ~ 3)

各入力信号をレコーダーのトラック (L および R) に送るレベルを調節します。[→ 「ミキサー部の設定」(12 ページ)]

< Memo > : このつまみをフルボリューム (右一杯) にした状態で基準レベルの信号を入力すると、メーターが -12dBFS を示します。

< Hint > : 送られた各信号 (1 ~ 3) がミックスされて録音が行われます。歪みのない録音を行うには、レベルメーターの右端の "OL" (オーバーロード) が点灯しないようにします。

⑤ [PAN] スイッチ (1 ~ 3)

各入力信号をレコーダーのどのトラックに送るかを選択します。この設定によって各信号のステレオ定位が決まります。[→ 「ミキサー部の設定」(12 ページ)]

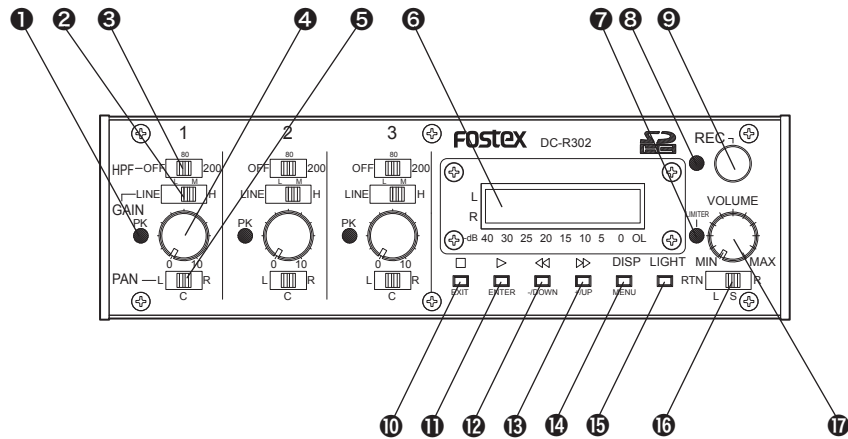
- L : L (左) トラックに送られ、信号が左に定位します。
- C : L (左) と R (右) の両トラックに均等に送られ、信号が中央に定位します。
- R : R (右) トラックに送られ、信号が右に定位します。

⑥ ディスプレイ

通常は、入力レベルや再生レベルを表示するメーター、ファイル名、時間、電池状況、各種設定情報などを表示します。[→ 「ディスプレイ詳細」(24 ページ)]
メニューモードでは、MENU 項目画面を表示します。

各部の名称と機能

フロントパネル



⑦ [LIMITER] インジケータ

本機では、録音する信号が大きすぎるとリミッターが自動的に音量を下げて音の歪みを防ぎます。リミッターが動作中、このインジケータが黄色に点灯します。[→ 「ミキサー部の設定」 (12 ページ)]

< Memo > : リミッターは入力ゲイン調整部にも搭載されていますが、このリミッターが動作しても [LIMITER] インジケータは点灯しません。

⑧ 動作インジケータ

録音中、赤く点灯します。
再生中、緑色に点灯します。
ファイルをロード中、緑色に点滅します。
SD カードが入っていないとき、緑色に点滅します。
電池の電圧が低いとき、緑色に点滅します。
パソコンと USB 接続しているとき、オレンジ色の点灯または点滅になります。

⑨ [REC] キー

録音の開始 / 停止を行います。
停止中に押すと、録音を開始します。
録音中に押すと、録音を停止してファイルのクローズ処理を行います。
メニューモードでは、実行確認画面が表示されたとき、このキーと [ENTER] キーを同時に押して実行します。

⑩ [■] ([EXIT]) キー

[■] キー機能：
再生中に押すと、ファイルの再生を停止します。

[EXIT] キー機能：
メニューモードを終了するとき押しします。またメニュー操作をキャンセルするときなどに使います。

その他の機能：
このキーを押しながら他のキーを押すことにより、以下の動作を行います。

- [■] キー + [▶▶] キー：現在のフォルダーを次のフォルダーに切り替えます。
- [■] キー + [◀◀] キー：現在のフォルダーを手前のフォルダーに切り替えます。
- [■] キー + [DISP] キー：現在のファイルを削除します。
- [■] キー + [LIGHT] キー：1kHz のトーンを発生します。

< Memo > : メニューの“REC STOP KEY”項目を使って、録音停止機能を [■] キーに割り当てることができます。[→ 「録音停止キーを設定する」 (18 ページ)]

⑪ [▶] ([ENTER]) キー

[▶] キー機能：
停止中に押すと、録音したファイルを再生します。

< Memo > : 録音を終了した後にこのキーを押すと、録音したファイルの先頭に戻り、再生を開始します。

[ENTER] キー機能：

メニューモード中、操作を実行するときや次に進むときなどに使います。

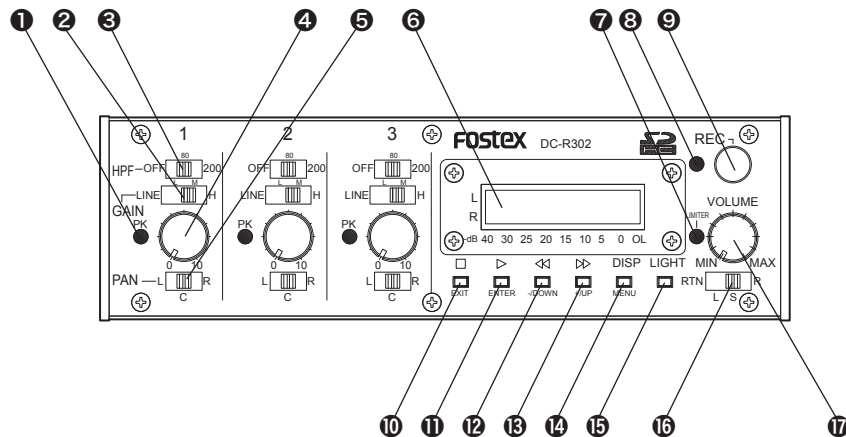
⑫ [◀◀] ([-/DOWN]) キー

[◀◀] キー機能：
停止中、短く押すと、ファイルの先頭に戻ります*。
押したままにすると、100 倍速でファイルを早戻しします。
再生中、短く押すと、ファイルの先頭に戻ります*。
押したままにすると、逆方向のキュー再生を行います。押し続けると段階的にキュースピードが速くなります。
録音中は機能しません。

* ファイルの現在位置がファイルの先頭から 2 秒以内のときに短く押すと、ひとつ手前のファイルの先頭に戻ります。ファイルの先頭から 2 秒以上経過している場合、現在のファイルの先頭に戻ります。

各部の名称と機能

フロントパネル



[- /DOWN] キー機能：

メニューモード中、設定を変更するときに使います。

その他の機能：

[■] キーを押しながらこのキーを押すと、現在のフォルダーが手前のフォルダーに切り替わります。

⑬ [▶▶] ([+ /UP]) キー

[▶▶] キー機能：

停止中、短く押すと、次のファイルの先頭に進みます。押したままにすると、100倍速でファイルを早送りします。

再生中、短く押すと、次のファイルの先頭に進みます。押したままにすると、キュー再生を行います。押し続けると段階的にキュースピードが速くなります。

録音中は機能しません。

[+ /UP] キー機能：

メニューモード中、設定を変更するときに使います。

その他の機能：

[■] キーを押しながらこのキーを押すと、現在のフォルダーが次のフォルダーに切り替わります。

⑭ [DISP] ([MENU]) キー

[DISP] キー機能：

押すたびにディスプレイの表示内容が切り替わります。[→ 「ディスプレイ詳細」(24ページ)]

[MENU] キー機能：

2秒以上押し続けると、メニューモードに入ります。メニューモード中は、このキーを押すたびにメニュー項目が切り替わります。

その他の機能：

[■] キーを押しながらこのキーを押すと、現在のファイルが削除されます。

⑮ [LIGHT] キー

短く押すと、ディスプレイのバックライトが2秒間点灯した後、消灯します。

2秒以上押し続けると、離れた後もディスプレイのバックライトが点灯したままになります。この状態でバックライトを消すには、再度2秒以上、このキーを押し続けます。

< Memo > : 本機の電源をオフにするときにバックライトのオン/オフ状態はメモリーに記憶されます。

また、[■] キーを押しながらこのキーを押すと、1kHzのトーンが出力されます。[→ 「基準トーンを出力する」(15ページ)]

⑯モニター選択スイッチ

ヘッドホンでモニターする音源を選択します。

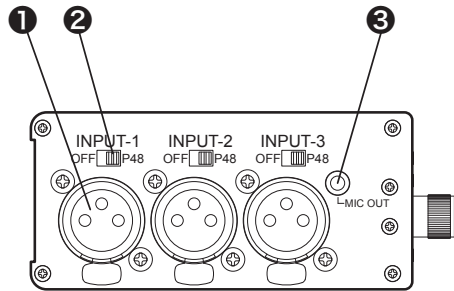
- RTN : [RTN IN] 端子からの入力信号をモニターします。
- L : レコーダーの左トラックのみをモニターします。
- S : レコーダーの左右トラックをステレオモニターします。
- R : レコーダーの右トラックのみをモニターします。

⑰ [VOLUME] つまみ

ヘッドホンの音量を調節します。

各部の名称と機能

左サイドパネル



① [INPUT] コネクター (1 ~ 3)

マイクや外部機器を接続します。[→ 「入力の接続と設定」 (11 ページ)]

コネクターは XLR-3P (メス) で、2 番ホットです。フロントパネルの [GAIN] スイッチで入力感度を切り替えます。

② ファンタム電源スイッチ (1 ~ 3)

ファンタム 48V 外部電源を必要とするコンデンサーマイクを接続するときに“P48”に設定します。[→ 「入力の接続と設定」 (11 ページ)]

<注意>：スイッチを“P48”に設定している状態でマイクの接続や取り外しをしないでください。大きなクリック音が出る場合があります。

③ [MIC OUT] 端子 (3.5mm ミニジャック)

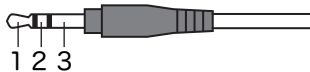
レコーダーの録音信号と同じ信号をマイクロレベル (-50dBV 基準出力レベル) で出力します。[→ 「カメラに本機のオーディオ信号を送る」 (26 ページ)]

コネクターは 4 極ミニジャックで、配線は以下のとおりです (わかりやすくプラグ側で示します)。

- 1 : L チャンネルオーディオ
- 2 : R チャンネルオーディオ
- 3 : リモート出力
- 4 : GND

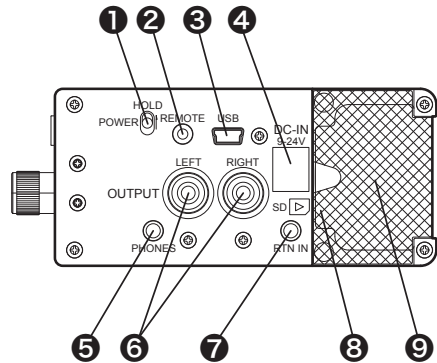


コネクターは 4 極ですが、外部機器にオーディオ信号を送る場合は通常の 3 極ミニプラグを使用してください (リモート出力がショートされても動作上問題ありません)。



- 1 : L チャンネルオーディオ
- 2 : R チャンネルオーディオ
- 3 : GND

右サイドパネル



① [POWER] スイッチ

本機の電源のオン / オフを行います。オフのときにスイッチを上上げるとオンになります。オンのときにスイッチを上へ 2 秒間上げたままにするとオフになります。

< Memo > : 再生中および録音中はオフにすることができません。

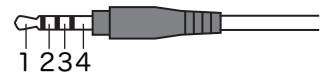
② [REMOTE] 端子 (2.5mm ミニジャック)

パナソニック互換のシャッターリモコンを接続します。

録音の開始 / 停止をリモコンで行うことができます。[→ 「シャッターリモートで本機をコントロールする」 (27 ページ)]

コネクターは 4 極ミニジャックです。配線は以下のとおりです (わかりやすくプラグ側で示します)。

- 1 : 未対応
- 2 : 未対応
- 3 : リモート
- 4 : GND



③ [USB] 端子

USB ケーブルを使って、パソコンと接続します。USB 経由で、本機からパソコンへのオーディオデータ転送、オーディオファイルのコピーなどを行うことができます。[→ 「USB 機能」 (25 ページ)]

④ [DC-IN] 端子

専用の AC アダプター (AD15-3200、別売) または外部バッテリーを接続します。この端子にプラグを接続すると、内蔵電池からの給電はカットされます。

各部の名称と機能

右サイドパネル

< Memo > : 外部バッテリーを接続する場合、外径：
φ 5.5mm、内径：φ2.1mm センタープラスのプラグ
を使って、9～24V の電圧を供給してください。

< 注意 > : プラグの抜き差しは、電源オフの状態で行っ
てください。

⑤ [PHONES] 端子 (3.5mm ミニジャック)

ヘッドホンを接続します。
コネクターはステレオミニジャックです。

⑥ [OUTPUT] 端子 (L、R)

本機のレコーダーが停止中および録音中はステレオ
ミックス信号、再生中はステレオ再生信号を出力しま
す。
コネクターは RCA ピンジャックで、基準出力レベル
は -10dBV です。

⑦ [RTN IN] 端子 (3.5mm ミニジャック)

外部機器のステレオ出力を接続します。
入力した信号は [PHONES] 端子に接続したヘッドホ
ンでモニターすることができます。
コネクターはステレオミニジャックで、基準入力レ
ベルは -10dBV です。

⑧ [SD-CARD] スロット

SD カードをセットします。[→ 「SD カード」(9 ペ
ージ)]

蓋の内部に挿入口があります。

SD カードをセットするには、SD カードのラベル面を
電池ケース側に向けて挿入し、カチッという音がする
まで押し込みます。

SD カードを取り出すには、カードを押し込んでロッ
クを解除し、ポップアップしたカードを抜き取ります。

< Memo > : 使用できる SD カードは以下のタイプで
す。

SD、SDHC、MiniSD、MiniSDHC、
MicroSD、MicroSDHC

* MiniSD、MiniSDHC、MicroSD、MicroSDHC を使
用する場合は変換アダプターが必要です。

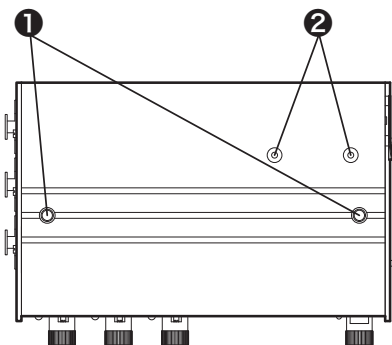
* SDXC カードは使えません。

⑨ 電池ケース収納部

本機を電池で駆動するとき、単三電池を 4 本セットし
た電池ケースを、この電池ケース収納部に挿入します。
電池ケースを取り出すには、蓋を開き、電池ケース端
に取り付けられているリボンを引き上げます。

アルカリ電池またはニッケル水素電池の使用を推奨し
ます。[→ 「電源の準備」(9 ページ)]

トップパネル



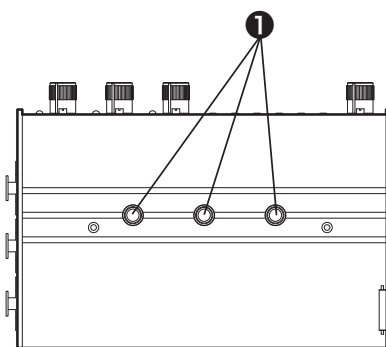
①カメラマウントブラケット用ネジ穴

付属のカメラマウントブラケットを取り付けるための
ネジ穴です。このブラケットは一眼レフカメラを本機
上部に固定するときに使います。[→ 「本機にカメラ
をマウントする」(26 ページ)]

②赤外線発光部

赤外線リモートに対応した一眼レフカメラをコント
ロールするための赤外線発光部です。本機の録音ス
タート/ストップに同期してカメラの録画がスタート
/ストップします。[→ 「本機に同期してカメラのス
タート/ストップを行う」(26 ページ)]

ボトムパネル



①三脚固定用ネジ穴

本機を三脚などに固定するときに使います。3 個所
にネジ穴が設けられています。[→ 「三脚を使う」(27
ページ)]

準備する

SD カード

本機のレコーダーは SD カードに録音を行います。
使用できる SD カードは以下のタイプです。

SD、SDHC、MiniSD、MiniSDHC、
MicroSD、MicroSDHC

* MiniSD、MiniSDHC、MicroSD、MicroSDHC を
使用する場合は変換アダプターが必要です。

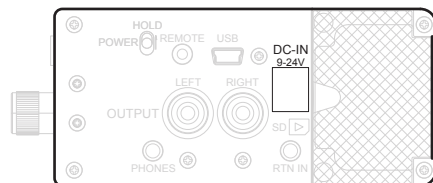
* SDXC カードは使えません。

【SD カードをセットする】

右サイドパネルの蓋の内部に SD カードの挿入口があります。

SD カードをセットするには、パネルの印刷に合わせて SD カードのラベル面を電池ケース側に向けて挿入し、カチッという音がするまで押し込みます。

SD カードを取り出すには、カードを押し込んでロックを解除し、ポップアップしたカードを抜き取ります。



● AC アダプター

別売りの AC アダプター (AD15-3200) を [DC-IN] 端子に接続します。

● 外部バッテリー

[DC-IN] 端子に外部の電源を接続します。

外径：φ5.5mm、内径：φ2.1mm センタープラスの DC プラグを接続し、9V ~ 24V の直流電源を供給してください。

< Memo > : AC アダプターや外部バッテリーの DC プラグを [DC-IN] 端子に接続すると、内蔵電池からの給電はカットされます。

電源

【電源の準備】

本機は、電池、AC アダプター (AD15-3200、別売) または外部バッテリーを使って駆動することができます。

● 電池

4 本の単三アルカリ乾電池またはニッケル水素充電式電池を使います。

以下の手順で本機に電池を収納します。

1. 付属の電池ケースに、表示の向きに従って、電池を 4 本入れます。
2. 右サイドパネルの蓋を開き、電池ケース収納部に電池ケースを挿入します。電池の見えるほうが SD スロット側に向くようにします。
3. 蓋を閉めます。

< Memo > : 電池ケースを取り出すときは、電池ケースの端に取り付けられているリボンを引っ張ります。

< Memo > : 電池を使う場合、残量表示やアラート表示を正しく行うために、メニューの“BATTERY”項目で電池の種類を設定してください。[→ 「電池の種類を設定する」(20 ページ)]

【電池に関する表示】

残量表示

電池で本機を駆動しているとき、[DISP] キーを押していくと、以下のような電池残量表示画面を表示することができます。

```
BATT: ██████████▬▬▬▬▬
VOLT: 4.4/ALKALI
```

上段には残量メーター、下段には電圧と電池の種類が表示されます。

アラート表示

電池の電圧が下がり、残量メーターが残り 2 目盛りになると、ディスプレイに以下のアラートが表示され、同時に動作インジケーターが緑色に点滅します。

```
* Battery:Low *
* [Clear]:MENU *
```

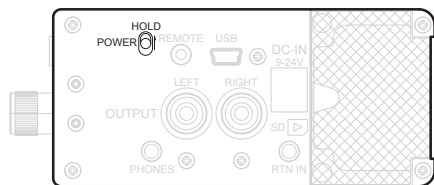
さらに電圧が下がり残量メーターが「0」になると、ディスプレイに以下のアラートが表示されます。

```
* Battery:Empty *
* [Clear]:MENU *
```

基本的な使い方

電源のオン / オフ

右サイドパネルの [POWER] スイッチを使って本機の電源のオン / オフを行います。



電源がオフのときにスイッチを矢印 (↑) 方向にスライドすると、約 1 秒後に電源がオンになり、以下の画面が表示されます。

```
Fostex  
DC-R302
```

カードがセットされている場合、カードを読み込み、以下の画面が表示されます。

```
+ Card Loaded +  
+                +
```

カードに音声ファイルがあると、ファイルが読み込まれ、以下のレベルメーター画面が表示されます。



電源をオフにするには、[POWER] スイッチを矢印 (↓) 方向にスライドしたまま 2 秒間ホールドします。

<メモ>：再生中および録音中はオフにすることができません。

日時の設定

本機を購入して最初に電源をオンすると、内部時計の設定画面がディスプレイに表示されます。

西暦の桁が点滅し、この状態で西暦の桁を設定できます。

```
M> RTC SETUP  
2012 3m29d
```

1. [- /DOWN] キー、[+ /UP] キーを使って西暦の値を設定します。
2. 設定を終えたら、[ENTER] キーを押します。月の桁が点滅し、この状態で月の桁を設定できます。
3. 以下、[- /DOWN] キー、[+ /UP] キーを使って値を設定してから [ENTER] キーを押します。押すたびに「西暦 → 月 → 日 → 時 → 分 → 秒 → 西暦...」のように桁が循環移動します。
4. すべての桁の値を設定したら、[EXIT] キーを押します。設定が完了し、内蔵クロックの現在時間が表示されます。
5. 再び [EXIT] キーを押します。通常の画面に戻ります。

●時計用のバックアップ電池について

内部時計のバックアップには交換不要の充電式ボタン電池を使用しています。本機の電源がオンの状態のときに充電され、電源がオフのときに内部時計をバックアップする仕組みになっています。

そのため長期間電源オフの状態が続くと、時計がリセットされる場合があります。

(バックアップ時間：満充電状態で約 5 ヶ月)

そのような場合、本機の電源を数時間程度オンしておくと、バックアップ電池が充電され再びバックアップが可能となります。

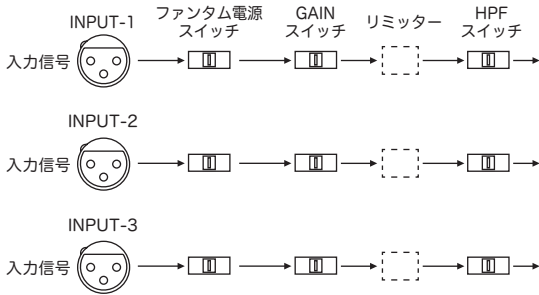
内部時計がリセットされても録音等を行うことができますが、生成されるファイルの日時が正しくない値となります。

基本的な使い方

入力の接続と設定

3つの[INPUT]コネクタ（XLRバランス入力）それぞれにマイクなどの音源を接続することができます。

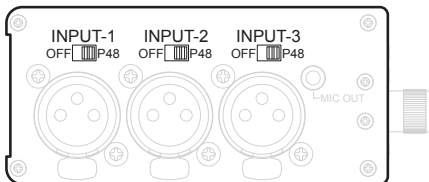
各入力ごとにファンタム電源(+48V)とハイパスフィルターを備えていますので、さまざまな状況に対応することができます。



入力ソースに合わせて、各入力チャンネルの以下のスイッチ/つまみを設定してください。

●ファンタム電源スイッチ

外部ファンタム電源を必要とするコンデンサーマイクを接続する場合は“P48”に設定します。このとき、[INPUT]コネクタのホット端子（2番ピン）およびコールド端子（3番ピン）に48Vが供給されます。それ以外の場合“OFF”に設定します。

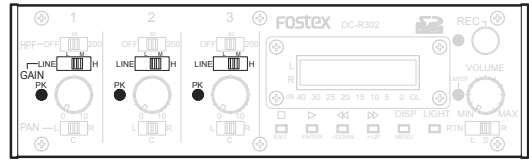


<Memo>：切り替え時には自動的にミュート機能が働きますので、使用中の切り替えが可能です。

<注意>：スイッチを“P48”に設定している状態でマイクの接続や取り外しをしないでください。大きなクリック音が出る場合があります。

●[GAIN]スイッチ

入力アンプ部のゲインを選択するスイッチです。音源の音量やマイクの感度に応じて設定します。



ラインレベルの音源の場合は“LINE”に設定します。

マイクを接続する場合は、“L”、“M”または“H”に設定します。

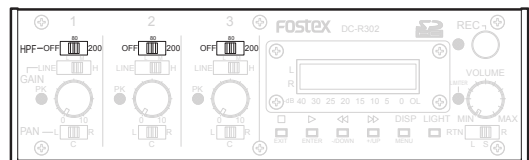
[PK]インジケータが赤く点灯する場合は入力が大き過ぎます。

この場合、音源を遠ざけるか、または[GAIN]スイッチを左寄りのポジションにしてください。

<Memo>：入力アンプ部にはリミッターが内蔵されています。過大な入力に対してはリミッターが動作して自動的にゲインを抑えます。

●[HPF]スイッチ

入力信号に風切り音や空調設備の音などの不要な低音ノイズが含まれているとき、ハイパスフィルターを使ってノイズをカットすることができます。



ハイパスフィルターを使わないときは“OFF”に設定します。

超低域をカットする場合、“80”に設定します。カットオフ周波数80Hz(-6dB/oct)のハイパスフィルターが働きます。

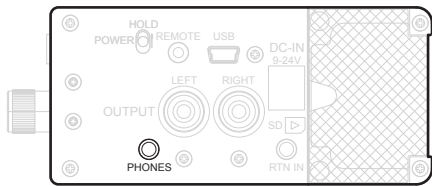
低域を大幅にカットしたい場合、“200”に設定します。カットオフ周波数200Hz(-6dB/oct)のハイパスフィルターが働きます。

基本的な使い方

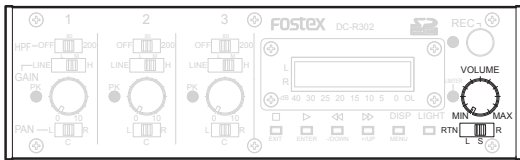
モニターの準備

< Memo > : 以下の説明はヘッドホンでモニターする前提で説明します。
 スピーカーを使ってモニターする場合は、右サイドパネルの [OUTPUT] 端子(L,R)を使います。なお [OUTPUT] 端子からは、常に左右のトラックの録音入力信号（再生時は再生出力信号）が固定レベルで出力されます。

ステレオヘッドホンを右サイドパネルの [PHONES] 端子に接続します。

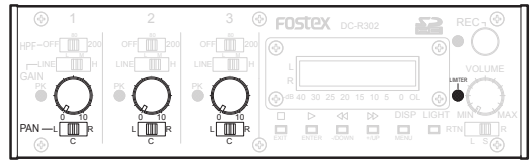


ヘッドホンの音量は、フロントパネルの [VOLUME] つまみを使って調節できます。



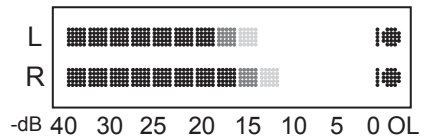
また、[VOLUME] つまみの下のモニター選択スイッチを使って、ヘッドホンモニターの音源を選択することができます。通常は“S”ポジションに設定します。このポジションでは左右のトラックの録音入力信号（再生時は再生出力信号）をステレオモニターすることができます。“L”または“R”ポジションに設定すると、左または右の録音入力信号（再生時は再生出力信号）をモノラルでモニターすることができますので、信号のチェックをするときなどに便利です。“RTN”ポジションに設定すると、右サイドパネルの [RTIN IN] 端子からの入力信号をモニターできます。

ミキサー部の設定



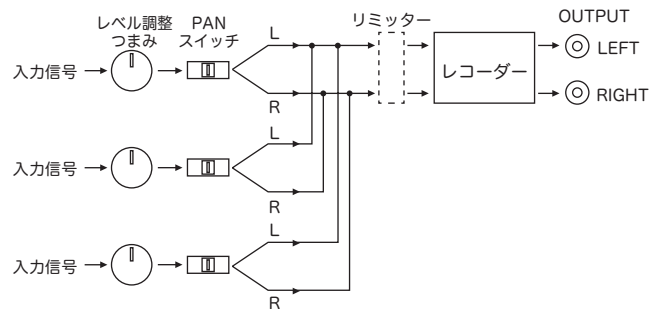
入力された信号はそれぞれレコーダー（およびライン出力）に送られ、ミックスされて録音が行われます。

レベル調整つまみを使って、各信号をレコーダーに送るレベルを調節します。信号を歪みなく録音するには、ディスプレイ上のレベルメーターの“OL”（オーバーロード）が点灯しないように設定します。



< Memo > : 本機では、突然の過大入力信号に対してはリミッターが自動的に音量を下げて音の歪みを防ぎます。リミッターが動作中、[LIMITER] インジケーターが黄色に点灯します。

また [PAN] スイッチを使って、それぞれの入力信号の送り先を選択します。“L”に設定すると L(左)トラックに送られ、信号が左に定位します。“R”に設定すると R(右)トラックに送られ、信号が右に定位します。“C”に設定すると両トラックに均等に送られ、信号が中央に定位します。

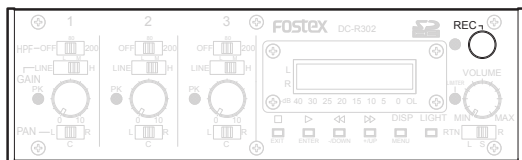


基本的な使い方

録音する

【録音の基本操作】

録音を行うと、WAV形式の録音ファイルがSDカード上に作成されます。



- 録音を開始するには、[REC] キーを押します。
- 録音を停止するには、再び [REC] キーを押します（初期設定時）。
停止後、本機がファイルのクローズ処理を行います。

空のSDカードに初めて録音を行った場合、フォルダーが作成されて、その中にファイルが作成されます。すでにフォルダーが存在する場合、ファイルは現在のフォルダー内に作成されます。新たにフォルダーを作成したり、すでに作成されたフォルダーを削除するには、後述の「ファイルの管理」(23 ページ) をご参照ください。

録音ファイルの最大サイズは2Gバイトです。録音中のファイルが2Gバイトに達すると、自動的に次のファイルを作って録音を続けます。

なお以下に述べるように、録音フォーマット（サンプリング周波数とビットレート）、録音を停止するためのキー操作、自動的に付加されるファイル名、録音開始/終了時のトーン発生などを、メニューを使って設定することができます。

【録音に関する設定】

録音に関する以下のさまざまな設定を行うことができます。これらの設定はメニューを使って行います。具体的な設定方法については「メニューを使う」(16 ページ～) をご覧ください。

録音フォーマット

[→ 「録音フォーマットを選択する」(17 ページ)]
録音ファイルのサンプリング周波数 (FS) とビットレート (BIT) の組み合わせを選択することができます。以下の組み合わせが可能です。

- 44.1kHz/16 ビット (初期設定)
- 48kHz/16 ビット
- 44.1kHz/24 ビット
- 48kHz/24 ビット
- 88.2kHz/24 ビット *
- 96kHz/24 ビット *
- (*V1.20 にて対応予定)

< Memo > : 同じSDカードに異なる録音フォーマットのファイルを共存することができます。

録音停止キー

[→ 「録音停止キーを設定する」(18 ページ)]
録音を停止するときを使うキーを以下の中から選ぶことができます。

- [REC] キー (初期設定)
- [■] キー
- [REC] キーと [■] キーの両方

デフォルトファイル名

[→ 「デフォルトファイル名を設定する」(19 ページ)]
録音ファイルに自動的に付けられるファイル名 (デフォルトファイル名) を以下の中から選択することができます。初期設定では「“SCENE” + ファイル番号」がファイル名になります。

- 「“SCENE” + ファイル番号」
(例: “SCENE001.wav”、 “SCENE002.wav”)
- 「“DCR” + ファイル番号」
(例: “DCR_001.wav”、 “DCR_002.wav”)
- 「西暦_月日_時分_秒」
(例: “2012_0325_1345_50.wav”)

< Memo > : 録音済みファイルのファイル名を本機で変更することはできません。ファイルをパソコンに取り込んで、パソコン上でファイル名を変更することはできますが、ファイル名を変更したファイルは本機で認識できなくなります。

基本的な使い方

録音する

録音開始トーン

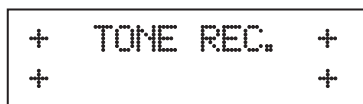
[→ 「録音開始時にトーンを発生する」 (17 ページ)]
録音開始時に、トーン (1kHz) を 0.1 秒間隔で 2 回発生することができます。

発生したトーンは本機に記録されるとともに、[OUTPUT] 端子、[MIC OUT] 端子、[PHONES] 端子から出力されます。

動画記録時にこのトーンをカメラ側の音声トラックに録音しておくことにより、本機で録音した音声ファイルとカメラ側の「動画+音声」ファイルをパソコンの編集ソフトなどに取り込んだとき、先頭の位置を合わせる目安にすることができます。

初期設定ではトーンを発生しません。トーンを発生する場合、録音を開始してからトーンを発生するまでの時間を選択することができます (0 秒～3 秒)。

トーンを発生中はディスプレイに以下の画面が表示されます。



録音終了トーン

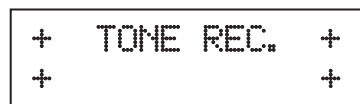
[→ 「録音終了時にトーンを発生する」 (18 ページ)]
録音終了時に、トーン (1kHz) を 0.1 秒間隔で 3 回発生することができます。

発生したトーンは本機に記録されるとともに、[OUTPUT] 端子、[MIC OUT] 端子、[PHONES] 端子から出力されます。

動画記録時にこのトーンをカメラ側の音声トラックに録音しておくことにより、本機で録音した音声ファイルとカメラ側の「動画+音声」ファイルをパソコンの編集ソフトなどに取り込んだとき、終了位置を合わせる目安にすることができます。

初期設定ではトーンを発生しません。トーンを発生する場合、録音停止操作からトーンを発生するまでの時間を選択することができます (0 秒～3 秒)。

トーンを発生中はディスプレイに以下の画面が表示されます。



基本的な使い方

再生する

SD カード上の WAV ファイルを再生することができます。

【再生可能な FS/ ビットの組み合わせ】

以下の FS/ ビットの組み合わせの WAV ファイルを再生することができます（本機で録音可能な FS/ ビット組み合わせと同じです）。

- 44.1kHz/16 ビット
- 48kHz/16 ビット
- 44.1kHz/24 ビット
- 48kHz/24 ビット
- 88.2kHz/24 ビット
- 96kHz/24 ビット

【ファイルを選択する】

以下の手順で再生するファイルを選択します。

1. 希望のファイルを格納しているフォルダーを選択します。
[■] キーを押しながら [▶▶] キーを押すと、現在のフォルダーから次のフォルダーに切り替わります。
[■] キーを押しながら [◀◀] キーを押すと、現在のフォルダーから手前のフォルダーに切り替わります。
2. フォルダー内の希望のファイルを選択します。
[▶▶] キーを押すと、現在のファイルから次のファイルに切り替わります。
[◀◀] キーを押すと、現在のファイルから手前のファイルに切り替わります。

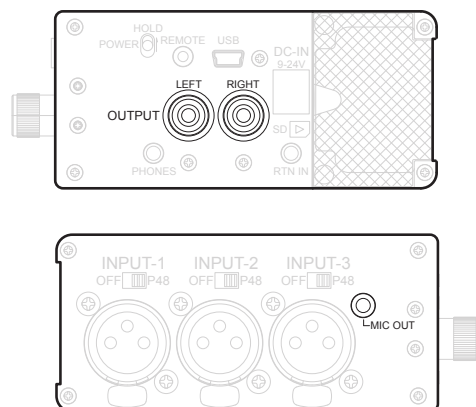
< Memo > : ファイルの途中から再生を始めたい場合、停止中に [▶▶] キーまたは [◀◀] キーを押したままにすると、100 倍速で早送りまたは早戻しを行います。

【再生の基本操作】

- 再生を開始するには：
[▶] キーを押します。
ファイルの再生を終えると自動的に停止します。
- キュー再生するには：
[▶▶] キー、[◀◀] キーを押したままにします。
再生中に押し続けると段階的にキュースピードが速くなります。
- 途中でファイルの頭に戻すには：
[◀◀] キーを押します。
- 途中で再生を停止するには：
[■] キーを押します。

外部に音声を出力する

本機の右サイドパネルの [OUTPUT] 端子から外部機器にラインレベル (-10dBV) の信号を出力することができます。また左サイドパネルの [MIC OUT] 端子から外部機器にマイクレベル (-50dBV) の信号を出力することができます。



[OUTPUT] 端子は通常、ミキサー、レコーダー、アンプなどに接続します。

[MIC OUT] 端子は通常、一眼レフカメラの外部マイク入力端子に接続します。

[OUTPUT] 端子からは、停止中および録音中はステレオミックス信号、再生中はステレオ再生信号が出力されます。

[MIC OUT] 端子からは、常にステレオミックス信号が出力されます。

【基準トーンを出力する】

本機は基準信号 (1kHz トーン) を発生して外部機器に送ることができます。

1. [■] キーを押しながら [LIGHT] キーを押します。

[OUTPUT] 端子、[MIC OUT] 端子、および [PHONES] 端子から、1kHz のトーンが基準レベル ([OUTPUT] 端子=-10dBV、[MIC OUT] 端子=-56dBV) で出力されます。

2. トーンを止めるには [■] キーを押します。

< Memo > : 録音中は基準トーンを発生できません。

メニューを使う

メニューを使って、本機の各種設定などを行うことができます。

メニュー操作の基本

1. 停止中に [MENU] キーを 2 秒以上押し続けます。
メニューモードに入り、メニュー項目画面が表示されます。
3. 設定を選択する項目の場合、[- /DOWN] キー、[+ /UP] キーを使って希望の設定値を選択します。
選択した時点で設定が有効になります。
4. メニューモードを終了するには [EXIT] キーを押します。
通常モードに戻ります。

```
M> FS/BIT
> 44/16
```

2. [MENU] キーを押して、希望のメニュー項目画面を選びます。
[MENU] キーを押すたびにメニュー項目画面が切り替わります。

[MENU] キーを 1 秒間押し続けると、逆方向に切り替わります。

メニュー項目一覧

メニューには以下のメニュー項目があります。

メニュー項目	内容	選択肢	初期設定
FS/BIT	Fs/bitの選択	44/16, 48/16, 44/24, 48/24, 88/24*, 96/24*	44/16
ToneRec Start	録音開始時のトーン発生	OFF, ON(0s), ON(0.5s), ON(1s), ON(1.5s), ON(2s), ON(3s)	OFF
ToneRec End	録音終了時のトーン発生	OFF, ON(0s), ON(0.5s), ON(1s), ON(1.5s), ON(2s), ON(3s)	OFF
REC STOP KEY	録音停止キーの選択	REC, REC & STOP, STOP	REC
DEF. FILENAME	ファイル名設定	SCENE, DC-R_	SCENE
MAX FILE SIZE*	最大ファイルサイズの選択	2G, 4G	2G
AUTO CONT FILE*	自動連続ファイル機能	ON, OFF	ON
USB	USB接続モード	OFF, PC*, AUDIO	OFF
BATTERY	バッテリー種類の選択	ALCALI, Ni-MH	ALCALI
IR REMOTE	赤外線コントロール設定	OFF, Canon	OFF
SD FORMAT	SDカードのフォーマット	-	-
RTC	内蔵時計の時間設定	-	-
RESET	メニュー項目の初期化	-	-
Version x.xx	バージョン表示	-	-

* V1.20 にて対応予定

メニューを使う

各メニュー項目の詳細

●録音フォーマットを選択する [FS/BIT]

録音ファイルのサンプリング周波数(FS)とビットレート (BIT) の組み合わせを、以下の手順で選択できます。初期設定は 44kHz/16 ビットです。[→ 「録音フォーマット」 (13 ページ)]

<Memo> : 同じ SD カードに異なる録音フォーマットのファイルを共存することができます。

1. 停止中に [MENU] キーを 2 秒以上押し続けます。メニューモードに入り、メニュー項目画面が表示されます。
2. [MENU] キーを押していった、「FS/BIT」画面を選びます。

```
M> FS/BIT
> 44/16
```

スラッシュの左側の数値がサンプリング周波数、右側の数値がビットレートを示しています。

<Memo>: [MENU] キーを 1 秒間押し続けると、メニュー項目が逆方向に切り替わります。

3. [- /DOWN] キー、[+ /UP] キーを使って、サンプリング周波数とビットレートの組み合わせを以下の中から選択します。

44/16 (初期設定)、48/16、44/24、48/24、88/24、96/24

選択した時点で設定が有効になります。

4. メニューモードを終了するには [EXIT] キーを押します。

●録音開始時にトーンを発生する [ToneRec Start]

録音開始時に、トーン (1kHz) を 0.1 秒間隔で 2 回発生することができます。[→ 「録音開始トーン」 (14 ページ)]

なお、録音を開始してからトーンを発生するまで遅延時間を選択することができます。

以下の手順で、録音開始時のトーン発生の設定を行います。

1. 停止中に [MENU] キーを 2 秒以上押し続けます。メニューモードに入り、メニュー項目画面が表示されます。
2. [MENU] キーを押していった、「ToneRec Start」画面を選びます。

```
M> ToneRec Start
> OFF
```

<Memo>: [MENU] キーを 1 秒間押し続けると、メニュー項目が逆方向に切り替わります。

3. [- /DOWN] キー、[+ /UP] キーを使って、以下の中から選択します。

OFF (初期設定) : トーンを発生しません。
ON (0s) : 録音開始と同時にトーンを発生。
ON (0.5s) : 録音開始の 0.5 秒後にトーンを発生。
ON (1s) : 録音開始の 1 秒後にトーンを発生。
ON (1.5s) : 録音開始の 1.5 秒後にトーンを発生。
ON (2s) : 録音開始の 2 秒後にトーンを発生。
ON (3s) : 録音開始の 3 秒後にトーンを発生。

選択した時点で設定が有効になります。

4. メニューモードを終了するには [EXIT] キーを押します。

メニューを使う

各メニュー項目の詳細

●録音終了時にトーンを発生する [ToneRec End]

録音終了時に、録音停止のためのキーを押した後、トーン (1kHz) を 0.1 秒間隔で 3 回発生してから録音を終了することができます。[→ 「録音終了トーン」 (14 ページ)]

なお、録音停止のためのキーを押してからトーンを発生するまでの間隔を選択することができます。

以下の手順で、録音終了時のトーン発生の設定を行います。

1. 停止中に [MENU] キーを 2 秒以上押し続けます。
メニューモードに入り、メニュー項目画面が表示されます。
2. [MENU] キーを押していった、「ToneRec End」画面を選びます。

```
M> ToneRec End
> OFF
```

<Memo>: [MENU] キーを 1 秒間押し続けると、メニュー項目が逆方向に切り替わります。

3. [- /DOWN] キー、[+ /UP] キーを使って、以下の中から選択します。

- OFF (初期設定) : 録音停止操作後、トーンを発生せずに直ちに録音停止。
- ON (0s) : 録音停止操作後、直ちにトーンを発生。そのあと録音停止。
- ON (0.5s) : 録音停止操作の 0.5 秒後にトーンを発生。そのあと録音停止。
- ON (1s) : 録音停止操作の 1 秒後にトーンを発生。そのあと録音停止。
- ON (1.5s) : 録音停止操作の 1.5 秒後にトーンを発生。そのあと録音停止。
- ON (2s) : 録音停止操作の 2 秒後にトーンを発生。そのあと録音停止。
- ON (3s) : 録音停止操作の 3 秒後にトーンを発生。そのあと録音停止。

選択した時点で設定が有効になります。

4. メニューモードを終了するには [EXIT] キーを押します。

●録音停止キーを設定する [REC STOP KEY]

初期設定では、[REC] キーを使って録音を停止しますが、[■] キーを使って録音を停止するように設定することもできます。[→ 録音停止キー (13 ページ)]

1. 停止中に [MENU] キーを 2 秒以上押し続けます。
メニューモードに入り、メニュー項目画面が表示されます。
2. [MENU] キーを押していった、「REC STOP KEY」画面を選びます。

```
M> REC STOP KEY
> REC
```

<Memo> : [MENU] キーを 1 秒間押し続けると、メニュー項目が逆方向に切り替わります。

3. [- /DOWN] キー、[+ /UP] キーを使って、録音停止キーを以下の中から選択します。

REC (初期設定) : 録音を停止するには [REC] キーを押します。

REC & STOP : 録音を停止するには [REC] キーまたは [■] キーを押します。

STOP : 録音を停止するには [■] キーを押します。

選択した時点で設定が有効になります。

4. メニューモードを終了するには [EXIT] キーを押します。

メニューを使う

各メニュー項目の詳細

● デフォルトファイル名を設定する [DEF. FILENAME]

録音ファイルに自動的に付けられるファイル名（デフォルトファイル名）を選択することができます。初期設定では「SCENE」＋ファイル番号」がファイル名になります。[→ 「デフォルトファイル名」(13 ページ)]

1. 停止中に [MENU] キーを 2 秒以上押し続けます。メニューモードに入り、メニュー項目画面が表示されます。
2. [MENU] キーを押していった、「DEF. FILENAME」画面を選びます。

```
M> DEF. FILENAME
> SCENE
```

< Memo > : [MENU] キーを 1 秒間押し続けると、メニュー項目が逆方向に切り替わります。

3. [- /DOWN] キー、[+ /UP] キーを使って、デフォルトファイル名を以下の中から選択します。

SCENE : 「SCENE」＋ファイル番号
(例 : 「SCENE001.wav」、 「SCENE002.wav」)
DCR_ : 「DCR」＋ファイル番号
(例 : 「DCR_001.wav」、 「DCR_002.wav」)

選択した時点で設定が有効になります。

4. メニューモードを終了するには [EXIT] キーを押します。

● USB モードを有効にする [USB]

本機とパソコンを USB 接続する場合は、本機を USB モードにする必要があります。[→ 「USB 機能」(25 ページ)]

1. 停止中に [MENU] キーを 2 秒以上押し続けます。メニューモードに入り、メニュー項目画面が表示されます。
2. [MENU] キーを押していった、「USB」画面を選びます。

```
M> USB
> OFF
```

< Memo > : [MENU] キーを 1 秒間押し続けると、メニュー項目が逆方向に切り替わります。

3. [- /DOWN] キー、[+ /UP] キーを使って、以下の中から選択します。

OFF : USB 接続が無効です。
PC* : USB PC モードになります。
(*V1.20 にて対応予定)
AUDIO : USB オーディオモードになります。

4. 「PC」または「AUDIO」を選択した後、[EXIT] キーを押してメニューモードを終了すると、本機が再起動して USB モードになります。USB PC モード、USB オーディオモードの詳細については「USB 機能」(25 ページ) をご覧ください。

メニューを使う

各メニュー項目の詳細

●電池の種類を設定する [BATTERY]

電池の残量 / 電圧表示や電圧低下時のアラート表示を本機が正しく行うために、メニューを使って以下の設定を行います。[→ 「電池に関する表示」(9 ページ)]

1. 停止中に [MENU] キーを 2 秒以上押し続けます。
メニューモードに入り、メニュー項目画面が表示されます。
2. [MENU] キーを押していった、「BATTERY」画面を選びます。

```
M> BATTERY
> ALKALI
```

< Memo > : [MENU] キーを 1 秒間押し続けると、メニュー項目が逆方向に切り替わります。

3. [- /DOWN] キー、[+ /UP] キーを使って、セットしている電池の種類に合わせて以下のいずれかを選択します。

ALKALI : アルカリ電池をセットしている場合
Ni-MH : ニッケル水素電池をセットしている場合

4. メニューモードを終了するには [EXIT] キーを押します。

●赤外線コントロール機器を設定する [IR REMOTE]

本機の録音スタート / ストップに同期して、赤外線リモートに対応したカメラの録画をスタート / ストップするには、この項目を正しく設定します。[→ 「本機に同期してカメラのスタート / ストップを行う」(26 ページ)]

1. 停止中に [MENU] キーを 2 秒以上押し続けます。
メニューモードに入り、メニュー項目画面が表示されます。
2. [MENU] キーを押していった、「IR REMOTE」画面を選びます。

```
M> IR REMOTE
> OFF
```

< Memo > : [MENU] キーを 1 秒間押し続けると、メニュー項目が逆方向に切り替わります。

3. [- /DOWN] キー、[+ /UP] キーを使って、以下の中から選択します。

OFF : 赤外線コントロール機能が無効です。
Canon : キヤノン製の一眼レフカメラを赤外線コントロールします。

選択した時点で設定が有効になります。

4. メニューモードを終了するには [EXIT] キーを押します。

メニューを使う

各メニュー項目の詳細

● SD カードをフォーマットする [SD FORMAT]

本機を使って SD カードを初期化することができます。

1. 停止中に [MENU] キーを 2 秒以上押し続けます。
メニューモードに入り、メニュー項目画面が表示されます。
2. [MENU] キーを押していった、「SD FORMAT」画面を選びます。

```
M> SD FORMAT
> [Y]:REC+ENT
```

< Memo > : [MENU] キーを 1 秒間押し続けると、メニュー項目が逆方向に切り替わります。

3. [REC] キーと [ENTER] キーを同時に押します。
フォーマットが実行され、フォルダー、ファイルがすべて削除されます。
4. メニューモードを終了するには [EXIT] キーを押します。

● 内部時計の日時を設定する [RTC]

以下の方法で内部時計の日時のチェック、調整（設定）を行うことができます。

< Memo > : 本機を購入後最初に電源を入れると、時間設定画面が表示されます。[→ 「日時の設定」(10 ページ)]

1. 停止中に [MENU] キーを 2 秒以上押し続けます。
メニューモードに入り、メニュー項目画面が表示されます。
2. [MENU] キーを押していった、「RTC」画面を選びます。

```
M> RTC
> 00h2m50s
```

内部時計の時間が表示されます。

ここで [+ /UP] キーを押すと年日時表示に切り替わります。

```
M> RTC
> 2012y03m29d
```

ここで [- /DOWN] キーを押すと、時分秒表示に戻ります。

3. 時間を調整するには、[ENTER] キーを押します。

時間設定モードに入り、西暦の桁が点滅します。
この状態で西暦の桁を設定できます。

```
M> RTC, SETUP
2012y03m29d
```

4. 点滅している桁の値を変えるには、[- /DOWN] キー、[+ /UP] キーを使います。

点滅する桁を移動するには、[ENTER] キーを押します。
押すたびに「西暦 → 月 → 日 → 時 → 分 → 秒 → 西暦...」のように桁を循環移動します。

5. すべての桁の値を設定したら、[EXIT] キーを押します。

手順 2 の「RTC」画面に戻り、現在時刻（時分秒）が表示されます。

6. メニューモードを終了するには [EXIT] キーを押します。

メニューを使う

各メニュー項目の詳細

●メニュー項目を初期化する [RESET]

以下の方法ですべてのメニュー項目を初期化（リセット）することができます。

1. 停止中に [MENU] キーを 2 秒以上押し続けます。
メニューモードに入り、メニュー項目画面が表示されます。
2. [MENU] キーを押していった、“RESET” 画面を選びます。

```
M> RESET
> [Y]:REC+ENT
```

< Memo > : [MENU] キーを 1 秒間押し続けると、メニュー項目が逆方向に切り替わります。

3. [REC] キーと [ENTER] キーを同時に押します。
メニュー項目が初期化されます。
4. メニューモードを終了するには [EXIT] キーを押します。

●ソフトウェアバージョンを表示する [Version x.xx]

以下の方法でソフトウェアバージョンを見ることができます。

1. 停止中に [MENU] キーを 2 秒以上押し続けます。
メニューモードに入り、メニュー項目画面が表示されます。
2. [MENU] キーを押していった、“Version” 画面を選びます。

```
M> Version 1.10
> 2012y03m23d
```

< Memo > : [MENU] キーを 1 秒間押し続けると、メニュー項目が逆方向に切り替わります。

上段にバージョン番号、下段にソフトウェアバージョンの作成日が表示されています。

3. メニューモードを終了するには [EXIT] キーを押します。

ファイルの管理

本機でSDカード内のファイル管理を行うことができます。

本機の自動ファイル管理機能

本機で録音を行うと、フォルダー内に新規のWAVファイルが作成されます。このとき、設定されているデフォルトファイル名に従って名前が自動的に付けられます。

フォーマットされたSDカードに初めて録音を行う場合、フォルダーも自動的に作成されます。

このとき、フォルダー名“001FXDCR”が自動的に付けられます。

<注意>：SDカード上のWAVファイル名をパソコンで編集すると、本機が認識できない場合があります。これは本機が認識できる文字に制約があるためです。

以上はすべて本機が自動的に行うファイル管理機能ですが、この他に本機から以下のファイル管理が可能です。

新規フォルダーを作成する

[■]キーを押しながら[▶▶]キーを押すと次のフォルダーに切り替わりますが、次のフォルダーが存在しない場合、新規フォルダー作成画面が表示されます。

```
[002] NEW FOLDER  
CREATE:<YES> NO
```

“YES”が選択されている(< >で囲まれている)とき(=上記の状態)に[ENTER]キーを押すと、新規フォルダーが作成されます。

このとき、手前のフォルダーの3桁番号に「1」が加算された3桁番号を持つフォルダーが作成されます。

新規フォルダーを作成しない場合は、[+ /UP]キーを押して“NO”を選択し、[ENTER]キーを押します。

<Memo>：ファイルが存在しない空のフォルダーがある状態では、新規にフォルダーを作成することができません。

<Memo>：フォルダーは最大100個作成することができます。

<Memo>：1つのフォルダー内には最大500個のファイルを格納できます。カレントフォルダーに500個のファイルが保管されているときに新たなファイルが作成されると、そのファイルは自動的に作成される新しいフォルダーに保管されます。

<Memo>：作成済みのフォルダーの名前を本機で変更することはできません。

フォルダーをパソコンに取り込んで、パソコン上で名前を変更することはできますが、名前を変更したフォルダーは本機で認識できなくなります。

ファイルを削除する

[■]キーを押しながら[DISP]キーを押すと、カレントファイルの削除画面が表示されます。

```
[002]  
DELETE: YES <NO>
```

カレントファイルを削除する場合、[- /DOWN]キーを押して“YES”を選択し(<YES>にして)、[ENTER]キーを押します。

削除しない場合は、“NO”が選択されている状態(上記画面の状態)で[ENTER]キーまたは[EXIT]キーを押します。

<Memo>：フォルダー内にファイルが1つだけのときにファイルを削除するとフォルダーは残りますが空のフォルダーになります。この状態では新規にフォルダーを作成することができません。

フォルダーとファイルをすべて削除する

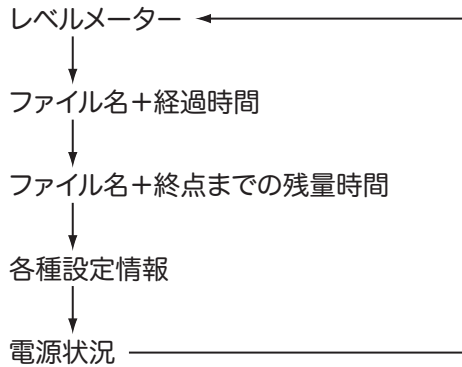
本機のメニューを使ってSDカードを初期化することにより、フォルダーとファイルをすべて消去することができます。[→「SDカードをフォーマットする」(21ページ)]

メニューモードで“SD FORMAT”画面を選び、[REC]キーと[ENTER]キーを同時に押すとフォーマットが実行されます。

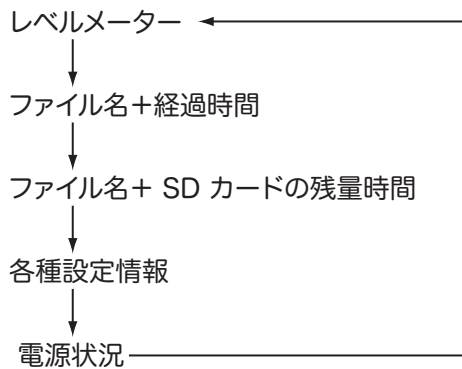
ディスプレイ詳細

本機のディスプレイは様々な情報を表示することができます。
 通常の動作中は、[DISP] キーを押すたびに以下の順番で表示内容が切り替わります。

●再生中 / 停止中：



●録音中：



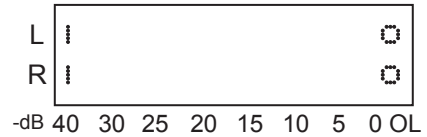
なお、これらの情報表示の他に、メニューモード中はメニュー画面を表示し、また状況に応じてアラート / エラー表示を行います。
 メニュー画面表示に関しては「各メニュー項目の詳細」(17 ページ～) をご覧ください。
 アラート / エラー表示に関しては「アラート表示とエラー表示」(28 ページ) をご覧ください。

以下に、通常動作中の各種情報表示の内容を説明します。

レベルメーター

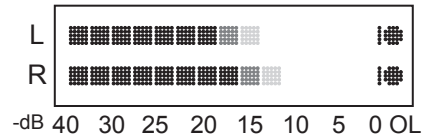
本機の電源を入れた直後は、レベルメーター表示になります。

何も信号がないときは、以下のような表示です。



停止中 / 録音中は、レコーダーに入力される左右チャンネル信号のレベルを表示します。
 再生中は、レコーダーの左右チャンネルの再生レベルを表示します。

以下は、信号入力時のメーターの表示例です。



一番右の“OL”は、信号がオーバーロードすると点灯します。

< Memo > : 最上位のレベル目盛りは 3 秒間保持されます。

ファイル名+経過時間

```
[001] SCENE008
[ABS] 00h00m08s
```

上段に現在のファイル名を表示します。
 下段にファイルの頭からの経過時間を表示します。

ファイル名+残量時間

```
[001] SCENE008
[REM] -00h00m04s
```

上段に現在のファイル名を表示します。
 下段には、再生中 / 停止中はファイルの残量時間、録音中は SD カードの残量時間を表示します。

一眼レフカメラと本機を一緒に使う

本機は動画機能を搭載したデジタル一眼レフカメラ（以下 DSLR）と組み合わせて使うための機能を搭載しています。

本機にカメラをマウントする

以下の手順で DSLR を本機の上部に取り付けることができます。

1. トップパネルのカメラマウントブラケット用ネジ穴に、付属のカメラマウントブラケットを取り付けます。



ブラケットの左右には、ブラケットを本機に取り付けるためのネジを通す穴が3つずつ開けられています。どの穴を選ぶかによって、本機と DSLR の前後位置を変えることができます。

< Memo > : 以下に述べる赤外線を使ったスタート / ストップ機能に対応した DSLR は、現在 Canon EOS 5D Mark II のみです。このカメラをマウントする場合、ブラケットをフロントパネル寄りに固定してください。

2. ブラケットのカメラ取り付け用ネジに DSLR を取り付けます。
このネジは左右に移動できますので、DSLR と本機の左右位置を調節することができます。

< Memo > : カメラを使用しないで本機をレコーダーとして使用するときは、ブラケットを本体から取り外すことをお勧めします。

本機に同期してカメラのスタート / ストップを行う

赤外線リモートに対応した DSLR を本機上部にマウントしているとき、本機の録音スタート / ストップに同期して、DSLR の録画をスタート / ストップすることができます。

本機の録音スタート / ストップ時に、本機のトップパネルに設けられている赤外線発光部からの信号を受けて、DSLR が動作します。

この機能を使うには、以下に述べる方法で赤外線コントロール機器を正しく設定する必要があります。

【赤外線コントロール機器を設定する】

1. 停止中に [MENU] キーを 2 秒以上押し続けます。
メニューモードに入り、メニュー項目画面が表示されます。
2. [MENU] キーを押していった、「IR REMOTE」画面を選びます。

```
M> IR REMOTE
> OFF
```

< Memo > : [MENU] キーを 1 秒間押し続けると、メニュー項目が逆方向に切り替わります。

3. [- /DOWN] キー、[+ /UP] キーを使って、以下の中から選択します。
OFF : 赤外線コントロール機能が無効です。
Canon : キヤノン製の一眼レフカメラを赤外線コントロールします。

選択した時点で設定が有効になります。

4. メニューモードを終了するには [EXIT] キーを押します。

カメラに本機のオーディオ信号を送る

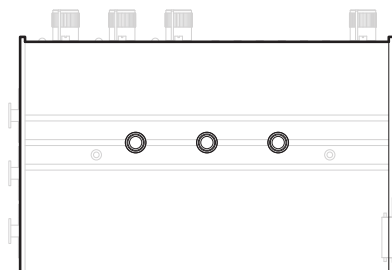
本機の [MIC OUT] 端子からはレコーダーの録音信号と同じステレオ信号がマイクレベル (-50dBV 基準出力レベル) で出力されます。
市販のステレオミニプラグケーブルを使って、[MIC OUT] 端子と一眼レフカメラの外部マイク入力端子を接続することにより、本機を使ってミックス / 処理した高品質のステレオミックス信号を、カメラに録音することができます。

< Memo > : [MIC OUT] 端子は 4 極ミニジャックですが、通常のステレオミニプラグケーブルを使って接続してください。
[MIC OUT] 端子のピンアサインは「各部の機能と名称」の「[MIC OUT] 端子」(7 ページ) をご覧ください。

カメラ機材を利用する

三脚を使う

ボトムパネルの三脚固定用ネジ穴を使って、本機を三脚などに固定することができます。
3個所にネジ穴が設けられていますので、使用状況に合わせてご利用ください。



シャッターリモートで 本機をコントロールする

本機の [REMOTE] 端子にパナソニック互換のシャッターリモコンを接続することにより、本機の録音のスタート / ストップをリモコンで操作することができます。

コントローラーのシャッターボタンとスライドスイッチの操作に対応する本機の動作は以下の通りです。

●シャッターボタン

半押し：本機は動作しません。

全押し：録音のスタート / ストップを行います。

●スライドスイッチ

LOCK 側にスライドすると録音をスタートします。録音中にスイッチを反対側にスライドしても録音はストップしません。録音をストップするには、いったん戻してから再度 LOCK 側にスライドする必要があります。

アラート表示とエラー表示

アラート表示

本機の使用上の問題がある場合、以下のアラート（警告）表示を行います。

< Memo > : [MENU] キーを押すとアラート表示が消えますが、状況が変わらないと再び表示されます。

● SD カードがセットされていないとき

```
* No Card *
* [Clear]:MENU *
```

同時に動作インジケータが緑色に点滅します。

● 電池の電圧が低いとき

```
* Battery:Low *
* [Clear]:MENU *
```

同時に動作インジケータが緑色に点滅します。

● 電池が空のとき

```
* Battery:Empty *
* [Clear]:MENU *
```

この表示が出ると、数秒後に本機の電源がオフになります。

● SD カードの書き込み可能領域がないとき

```
* Card:Full *
* * *
```

エラー表示

オーディオファイル、SD カードに問題がある場合など、エラーが表示されます。

● オーディオファイルの形式が正しくないとき

```
* Song:Error *
* [Clear]:MENU *
```

● SD カードのフォーマットが正しくないとき

```
* Card:Error *
* [Clear]:MENU *
```

● SD カードの LOCK スイッチが設定されているとき

```
* Card:Locked *
* [Clear]:MENU *
```

● 録音中にオーディオの処理が間に合わなかったとき

```
* Rec:Missed *
* [Clear]:MENU *
```

仕様

アナログオーディオ入出力

(0dBu=0.775Vrms、0dBV=1Vrms)

【入力端子】

● [INPUT] 端子 (1 ~ 3)

- ・コネクター：XLR-3-31 (メス / 2 番 HOT) タイプ / 電子バランス
- ・入力レベル / インピーダンス
([GAIN] スイッチで切り換え可能)

[GAIN] スイッチ設定	基準入力レベル	最大入力レベル	入力インピーダンス
H	-60dBu	-32dBu	2kΩ以上
M	-45dBu	-17dBu	2kΩ以上
L	-30dBu	-2dBu	2kΩ以上
LINE	-10dBu	+10dBu	10kΩ以上

● [RTN IN] 端子

- ・コネクター：φ3.5mm ステレオミニジャック / アンバランス
- ・基準入力レベル：-10dBV
- ・最大入力レベル：+2dBV
- ・入力インピーダンス：10kΩ以上

【出力端子】

● [OUTPUT] 端子 (LEFT, RIGHT)

- ・コネクター：RCA ピンジャック / アンバランス
- ・基準出力レベル：-10dBV
(基準入力レベルおよび -12dBFS 信号再生時)
- ・最大出力レベル：+2dBV (0dBFS 再生時)
- ・適合負荷インピーダンス：10kΩ以上

● [MIC OUT] 端子

- ・コネクター：φ3.5mm 4 極ミニジャック

【ステレオ出力】

- ・基準出力レベル：-50dBV (基準入力レベル)
- ・最大出力レベル：-30dBV
- ・適合負荷インピーダンス：10kΩ以上

【リモート】

- ・オープン時 40kΩ / クローズ時：2kΩ

● [PHONES] 端子

- ・コネクター：φ3.5mm ステレオミニジャック
- ・適合負荷インピーダンス：8Ω以上
- ・最大出力：50mW + 50mW
(32Ω 負荷時、THD：0.1%以下)

その他のコネクター

● [REMOTE] 端子

- ・コネクター：φ2.5mm 4 極ミニジャック

● [USB] 端子

- ・コネクター：MINI B タイプ

● [DC-IN] 端子

- ・コネクター：DC インレット
(外側：φ5.5<-極>/中心：φ2.1<+極>)

ピークリミッター

- ・アタックタイム：約 0.5msec
- ・リリースタイム：約 200msec
- ・スレッシュホールド：-1dBFS

HPF (ハイパスフィルター)

- ・カットオフ周波数：80Hz、200Hz 切替
- ・スロープ：-6dB/oct.

性能

●周波数特性

- ・[INPUT] (ライン入力) ~ [OUTPUT] :
20 ~ 20,000Hz ±1dB (基準レベル)
- ・[INPUT] (ライン入力) ~ [MIC OUT] :
20 ~ 20,000Hz ±2dB (基準レベル)
- ・[INPUT] (マイク入力) ~ [OUTPUT] :
40 ~ 20,000Hz ±1dB (基準レベル)
- ・[PHONES] 出力：20 ~ 20,000Hz ±3dB
(32Ω 負荷、25mW 出力時)

●S/N 比 (LPF：20kHz、A-weighted)

- ・ライン入力時：90dB 以上
([GAIN] スイッチ：LINE)
- ・マイク入力時：55dB 以上
([GAIN] スイッチ：H、入力 150Ω 短絡)

●全高調波歪率 (LPF：20kHz)

- ・ライン入力時：0.01% 以下 at 1kHz
([GAIN] スイッチ：LINE)
- ・マイク入力時：0.1% 以下 at 1kHz
([GAIN] スイッチ：H)

●クロストーク (隣接チャンネル間)

- ・ライン入力時 ([GAIN] スイッチ：LINE) :
-70dB 以下 (@ 1kHz)
- ・マイク入力時 ([GAIN] スイッチ：H) :
-70dB 以下 (@ 1kHz)

仕様

一般

- 外形寸法：
 - 幅：152mm（突起物含まず）
 - 高さ：44mm（ブラケット装着時 52.5mm）
 - 奥行き：97mm（突起物含まず）
- 質量：
 - 約 700g（ブラケットと電池ケースを含む / 電池含まず）
 - 約 950g（電池ケースとアルカリ電池を含む）
- 電源
 - ・電池（内蔵電池ケース経由）：
 - 単三乾電池 x 4 本（アルカリ / ニッケル水素）
 - 定格電源範囲：DC4.8V ~ 6V
 - ・外部電源（[DC IN] 端子経由）：
 - AC アダプター（AD15-3200、別売）、
 - 外部バッテリー / 定格電源範囲：DC9 ~ 24V 最小動作可能電源電圧：7.2V

●消費電力：約 3W

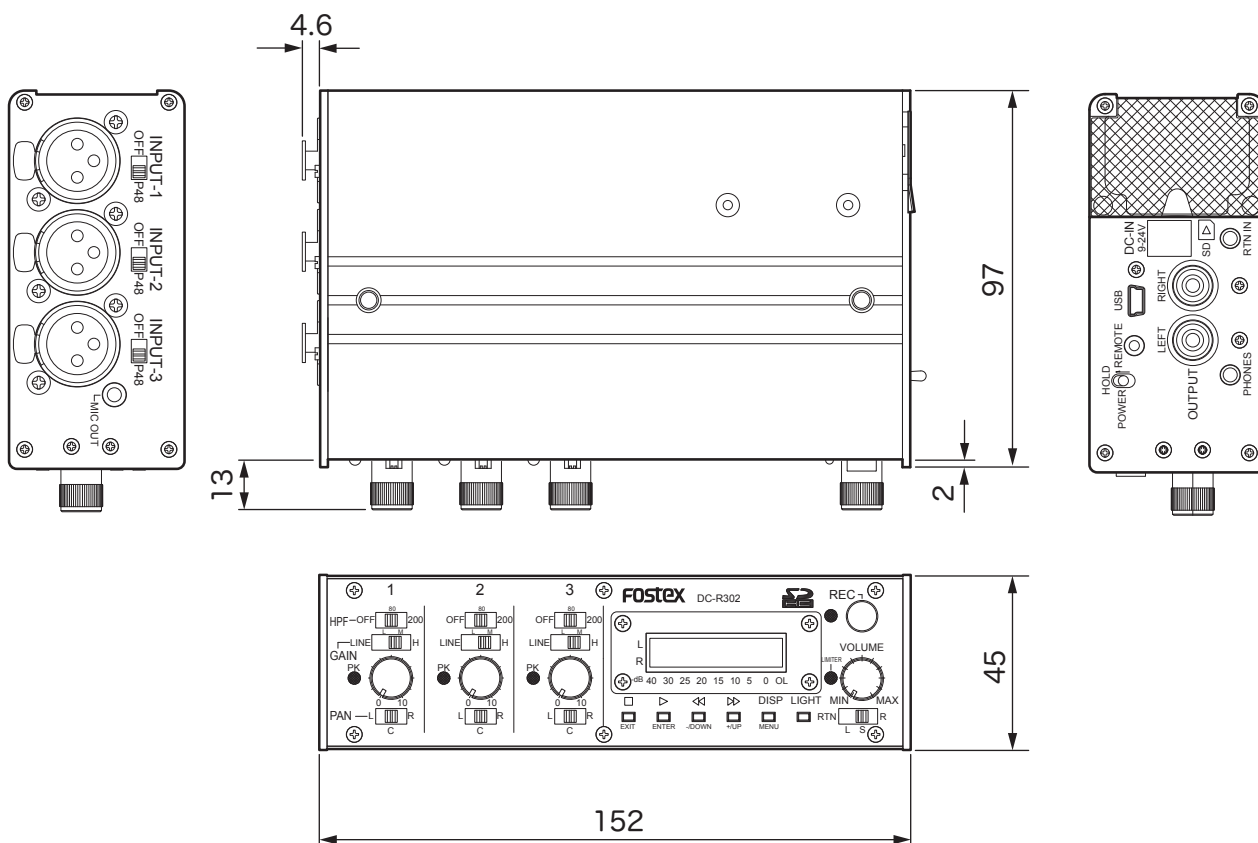
●電池持続時間

電池	ファンタム電源オフ（全入力）	ファンタム電源オン（全入力）
アルカリ電池	約5.5時間	約3時間
Ni-MH（SANYO製eneloop）	約6時間	約4時間
Ni-MH（SANYO製eneloop pro）	約7.5時間	約5時間

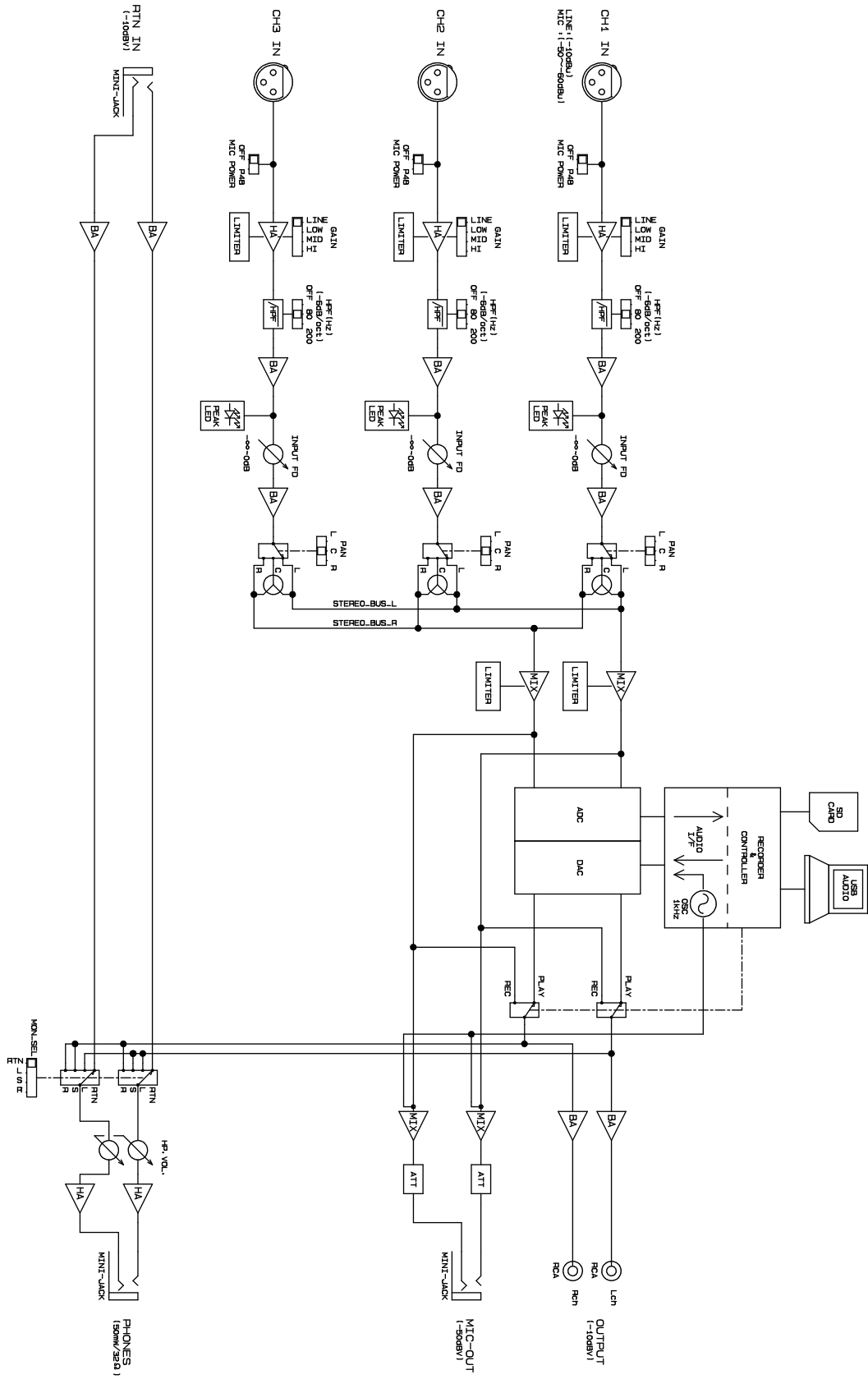
●付属品：電池ケース、カメラマウント用ブラケット、クイックスタートマニュアル

* 製品の規格や外観等は、改良のため将来予告無く変更することがあります。

外形寸法図



ブロックダイアグラム



Fostex フォステクス カンパニー

〒196-0024 東京都昭島市宮沢町512

☎ 042-545-6111 FAX.042-546-6067